

第9回人工心臓管理技術認定士（小児体外式）認定試験 受験要項

4学会1研究会合同認定委員会
日本人工臓器学会
日本胸部外科学会
日本心臓血管外科学会
日本体外循環技術医学会
日本臨床補助人工心臓研究会

I. 受験資格

受験申請を希望するものは以下の項の基準を有することとする。

1. 日本臨床補助人工心臓研究会会員（施設会員を含む）、または構成4学会のいずれかの会員であること。
2. 心臓血管外科専門医認定機構が認定する認定修練施設（関連施設を含む）または日本循環器学会指定研修施設において、下記の経験年数を満たす者であること。
 - ① 医師（心臓血管麻酔専門医・心臓血管外科専門医）・・・経験 1年以上
 - ② 医師・・・経験 3年以上
 - ③ 臨床工学技士・・・経験 3年以上
 - ④ 看護師・・・経験 3年以上*免許交付日から経験年数を基準とする。
3. 補助人工心臓（小児体外式）植込・駆動実習を含む補助人工心臓研修コースに5年間で1回以上参加していること。現在認定委員会で認定しているコースは以下の通り。
 - ① 東京大学主催の小児補助人工心臓研修コース
 - ② 日本小児循環器学会・JACVAS 合同開催の小児用補助人工心臓研修セミナー
 - ③ 大阪大学主催の西日本小児 VAD 研修コース
4. 日本臨床補助人工心臓研究会、または日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本小児循環器学会・日本人工臓器学会・日本体外循環技術医学会の人工心臓・補助循環に関連したセッション、日本人工臓器学会教育セミナー（当該年度も含む）、日本体外循環技術医学会教育セミナー、人工心臓と補助循環懇話会（AHAC の会）、DT 研究会に5年間に3回以上参加した者。
但し、日本臨床補助人工心臓研究会または人工心臓と補助循環懇話会（AHAC の会）に1回以上参加すること。
5. 3症例以上の『（補助）人工心臓治療症例記録』を添付すること。
*補助人工心臓治療経験症例としては、補助人工心臓症例に加え、左心バイパス症例あるいは左心系脱血を伴う ECMO 症例を含む。なお、治療経験とは装着手術や病室における装着患者管理である。

VI. 試験当日

当日は受験票と筆記用具を持参。

受験票には必ず申請書と同一の写真を貼ること。

なお、当日は面接試験があるため、相応しい格好で来場すること。

VIII. 問い合わせ及び申請書送付先

事務局：〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4階

4学会1研究会合同人工心臓管理技術認定士認定委員会 宛

E-mail: joint_nintei@asas-mail.jp *お問い合わせはメールのみ

IX. 個人情報の取り扱いについて

合格者および認定士は氏名を学会誌・HP等により開示する場合がある。

X. 認定試験申請書の記入上の注意

1. 申請をする際には必ずオンラインより1次登録を行い、登録番号を記載すること。
2. 記載不備の場合は受理ができないため、経験歴以外は本人の自筆により楷書で正確に記入すること。
3. 所属学会の会員番号（施設会員の場合は○印）を明記すること。
4. 医療に関する現有資格は国家資格、学会・協会認定資格、各製造販売企業が発行する研修修了書の順にその写しを添付すること。
5. 経験歴は、指定施設（関連施設を含む）の施設責任者か当該（心臓血管外科・循環器外科等）部門長の証明が必要となる。
 - A. 常勤あるいは常勤に準じるものとし、アルバイトは認めない。
 - B. 複数の施設におよぶ場合は年数を加算し、各施設の証明を添付すること。
6. 氏名は原則開示する。
7. 受付後の提出書類および受験料はいかなる理由があっても返却しないこととする。
8. 申請書添付の写真と同一の写真を保管し、申請後に届く受験票に貼って当日持参すること。

2021年4月15日一部改訂、直ちに施行